

校訓:「創造」「根気」「協力」 教育目標:「ゆたかにきずき あしたをになう ～心やさしく おおらかに～」



仙北市立神代中学校 学校報

No. 63 令和6年3月19日(火)

## 本日、**修了式** 令和6年度 のさらなる**飛躍**を願う

本日をもって令和5年度の授業日が終了しました。子どもたちの頑張りはもちろんですが、それを支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

振り返ると、生徒（卒業生も含め）の活躍・成長ぶりは他校を圧倒していたと自負しています。部活動での県大会・東北・全国大会出場、そして大活躍。また、吹奏楽部のミルハスでの演奏は鳥肌が立ちました。さらに、英語暗唱東北大会出場をはじめとする諸コンクールでの数々の入賞…。この他、校内での表彰等、全員が新たな自分を創りあげました。すばらしいことです。自信をもって令和6年度に向かってくれるものと信じています。

修了式では、竹内まりやさんが歌った「いのちの歌」を紹介しました。

生きてゆくことの意味  
問いかけるそのたびに  
胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ  
この星の片隅で  
めぐり会えた奇跡は  
どんな宝石よりも たいせつな宝物  
泣きたい日もある  
絶望に嘆く日も  
そんな時そばにいて 寄り添うあなたの影  
二人で歌えば 懐かしくよみがえる  
ふるさとの夕焼けの 優しいあのぬくもり  
本当にだいじなものは 隠れて見えない  
ささやかすぎる日々の中に  
かけがえない喜びがある

世界では、80億を超える人々（国連）が生活しています。しかし、残念ではありますが私たちはその80億の人々全員と会うことはで

きません。私たちが一生のうちに出会う人はせいぜい3万人程度というデータがあります。人と人が出会うのは本当に奇跡的なことだということがこの数値から分かります。そして、私たちは出会いました。何か1つでも欠けていたら、違っていたら私たちは決して出会うことはなかったことでしょうか。ここにいるのが当たり前のように毎日を過ごしていますが、最近、この出会いは奇跡の出会いなのだなと考えるようになりました。何か「縁」を感じてしまいます。この「縁」をもっともっと大事にしていかなければならないなども考えています。そのためには、積極的に関わりをもっていきたいものだと思います。この世に完璧な人など存在しません。誰にでもよい面（長所）と改善しなければならぬ面（短所）が存在しています。短所を指摘し合うばかりではなく、まずはお互いを尊重し合い、認め合い、互いの長所を伸ばし合う存在、短所を補い合える存在になりたいものだと考えています。そうして、みんなが成長していけたらどんなに素晴らしいことでしょうか。

4月には新入生を迎え、新生神代中学校がスタートします。教職員も含め、奇跡の出会いで巡り会った人たちです。互いに高め合い、令和6年度を素晴らしい1年にしていきたいと思います。



至らない点が多々あったことと思いますが、今年度の本校教育活動へのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。